



2022 年度

明星大学地域活動報告書

期間：2022.4～2023.3

CONTENTS

Topics	1. 明星大学 SATOYAMA プロジェクト	P.3
	2. 【人文学部人間社会学科】ゼミによる地域連携	P.4
	3. 【情報学部】あきる野市子ども向け公開講座の提供	P.5
	4. 【教育学部】有志学生の日野市の体育教室への参加・協力	P.5
	5. 【経営学部】ゼミによる地域連携活動	P.6
	6. 【デザイン学部】産官学連携による地域活動	P.7
地域連携	1. 自治体との連携	P.8
	2. 各種団体との連携・協働・学生参加	P.12
活動例紹介	1. 公開講座・イベント	P.15
	2. 学友会・ボランティア活動	P.17
	3. 学部・教員等による連携活動	P.20
発行物	地域交流センター2022年度発行物のご案内	P.29

明星大学地域交流センターでは、明星大学の地域活動について情報発信を行い、より一層、学内外の方々との相互理解・交流が深まることを目的として、地域活動報告書及び Newsletter を発行しております。

2021年度には、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、活動の規制があった大学の地域交流活動ですが、2022年度にはその制限が緩和され、授業やゼミでの地域連携活動のほか、サークル等のボランティア活動も再開しています。当報告書にて、その一部を紹介させていただきます。

明星大学地域交流センター



Topics

1. 明星大学 SATOYAMA プロジェクト

◆未知の緑地に学ぶ・みりよくちー 明星 SATOYAMA プロジェクト 2022→2025 始動

明星大学では、学内の自然環境に着目し、その里山としての活用と地域連携について考える「明星 SATOYAMA プロジェクト 2022→2025*」（*旧称「みどりのキャンパスプロジェクト」）を始動しました。

大学の緑地を中心に据えて、学部を越えた学生・教職員、地域の皆様、近隣の大学、近隣自治体など多様な人々と交わりながら広がるプロジェクトです。

11月5日には、明星 SATOYAMA プロジェクトと明星会（明星大学同窓会）のコラボイベントとして、八重山吹 140本の植樹を行いました。場所は体育館下の貯水池周り。当日は天候にも恵まれ、柳川亜季准教授の指揮のもと、1時間ほどで植樹が完了しました。



在校生と同窓生による植樹の様子：

「明星 SATOYAMA プロジェクト 2022→2025」に賛同した同窓生の協力が加わる形で、この植樹が実現しました。詳しくは、明星大学公式 HP よりご覧いただけます。「SATOYAMA」と検索してください。

◆「カーボンニュートラル達成に貢献する大学等コアリション」に加入しました

明星大学は、2022年6月に文部科学省、経済産業省、環境省と全国の大学等による「カーボンニュートラル達成に貢献する大学等コアリション」に加入しました。

このネットワークを通じて、国や自治体、企業、全国の参加大学等との連携を強化し、国・地域の脱炭素化等に資する研究や社会実装の推進、地域やキャンパスのゼロカーボン化などに係る取り組みやその発信を通じ、カーボンニュートラル達成にいっそう貢献していくことを目指します。

このコアリションが設置する5つのワーキング・グループのうち、本学は人材育成WGに参加し、カーボンニュートラル人材の育成をはじめ、カーボンニュートラル実現に向けた学外との連携や研究を推進してまいります。

なお、参加機関である宮城大学の地域創生シンポジウム「キャンパスから考える森林再生とカーボンニュートラル」（2023年2月21日開催）では、理工学部柳川亜季准教授が明星大学での取り組みについて発表しました。

2. 【人文学部人間社会学科】ゼミによる地域連携

◆【熊本ゼミ】学生立案「誰もが使いやすい東京都防災アプリ」

人間社会学科熊本ゼミ（熊本博之教授）の学生が立案した都民提案「誰もが使いやすい東京都防災アプリ」が、事業化対象候補となり、このたび令和5年度東京都予算案に反映されました。

都民提案は従来の発想にとらわれない新たな視点から都政の喫緊の課題を解決することを目的として、東京都で2017年度から実施されているものです。

今回の提案「誰もが使いやすい東京都防災アプリ」は、現在の東京都防災アプリの機能を拡充し、子供や高齢者など、誰もが使いやすいアプリにすることで、災害対応力を向上させるというものです。

2023年2月7日、東京都庁で行われた「令和4年度事業提案制度感謝状贈呈式」において、本事業を提案した学生が小池百合子東京都知事より感謝状と記念品の贈呈を受けました。



◆【鶴沢ゼミ】ワーク・ライフ・バランス調査と高大生のためのオンライン会社見学会の実施

少子高齢化により労働力人口が減少している一方、女性や高齢者、外国人などが働きにくい社会・企業体制が指摘される昨今、2007年に「ワーク・ライフ・バランス憲章」が制定、2019年に関連法が施行された「働き方改革」でも、働き過ぎを防ぐことで、働く方々の健康を守り、多様な「ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和・以下WLB）」を実現することが挙げられました。日野市でも、「女性と男性があらゆる分野でともに参画できる環境づくり」が掲げられ、家庭・職場・地域におけるWLBへの目配りが示されています。中でも、「WLB推進に向けた企業への働きかけ」は施策の重点的な課題とされています。

これを実効的な形にすべく、日野市男女平等推進委員会に関わるメンバー（日野市平和と人権課・委員長の明星大学鶴沢由美子教員とゼミ生・副委員長の実践女子大学須賀教員とゼミ生）が協働し、日野市内の企業、団体などを訪問して、WLBを中心としたインタビュー調査を実施しました。優れた事例を取り上げ、WLBの施策を実行するポイントを日野市の企業や市民の皆さまに広く知っていただく取り組みです。鶴沢ゼミでは3社を対象に調査を実施しました。

また、今年度は学外活動が解禁され、今まで参加するだけだった「高大生のためのオンライン会社見学会」（多摩大学

長島ゼミ・明治大学奥山ゼミと協働で実施）では、WLB調査に協力していただいた日野市役所と、エム・ケー株式会社の2社でオンライン説明会を実施することができました。参加した皆さんには、社会人として働く上で、WLBの大切さについても感じ取ってもらうことができ、有意義な調査となりました。



オーダーメイド型の働き方で
100年企業を目指す エム・ケー株式



日野市役所での高大生のための
オンライン見学会の様子

※ワーク・ライフ・バランス調査

調査報告については、日野市 HP からご覧いただけます。

<https://www.city.hino.lg.jp/kurashi/danjo/danjo/1018665.html>



3. 【情報学部】 あきる野市子ども向け公開講座の提供

◆山中脩也准教授による、あきる野市プログラミング・ワークショップ

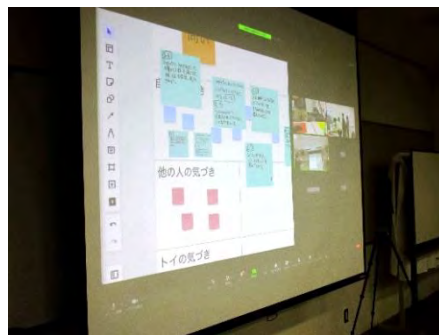


山中脩也准教授

2023年3月19日（日）、あきる野市中央公民館にて、情報学部山中脩也准教授がプログラミングワークショップを行いました。

対象は小学校高学年～中学生（親子での参加可）、プログラミングとは何かを実際に体験し、基本を楽しく学ぶ講座で、本学学生もサポーターとして加わりました。

当日は、対面とオンラインのハイブリット開催で、参加者にはコンピュータに実際に触ってもらったのちに、その経験を自分の言葉で書き出し、プログラミングに関するお互いの「気づき」や「新たな設問」などを共有しながらPCと向き合い、プログラミングの楽しさを体験していただきました。



4. 教育学部 有志学生の日野市の体育教室への参加・協力

◆日野市民スポーツ・レクリエーションフェスティバル「『はりきり体育ノ介』体育教室」への参加協力

2022年10月10日、日野市民スポーツ・レクリエーションフェスティバル内で開催された、「NHK『はりきり体育ノ介』体育教室」に、教員志望の教育学部の学生4名がスタッフとして参加しました。

実施種目は鉄棒の“さかあがり”。逆上がりの“できるポイント”を紹介し、実際に子どもたちに挑戦してもらいました。

『はりきり体育ノ介』とは、体育の苦手を克服し、“できる”ようにすることを目的としたNHK・Eテレの番組（NHK for School）で、実際の教育現場でも教材として活用されています。

今回のイベントでは、教員を目指す学生にNHK for Schoolを活用した指導モデルの一助としてご提案を受け、連携が実現しました。

学生たちは、“体育ノ介”と”博士”の指導のもとに、出来る楽しさと体育の楽しさを体験してもらえるように、子どもたちの“さかあがり”挑戦を補助しました。



会場：日野市 市民の森スポーツ公園陸上競技場

5. 経営学部 ゼミによる地域連携活動

◆田原ゼミ（田原洋樹特任教授）による、あきる野市の駅周辺マップ作成

あきる野市・明星大学・あきる野商工会による協力で、あきる野市の食の魅力をPRする「JR五日市線沿線グルメマップ」を2018年度より作成しています。

2018年度は秋川駅、2019年度は東秋留駅、2021年度は武蔵引田駅、2022年度には武蔵増戸駅のグルメマップを作成しました。学生たちが現地で飲食店を取材して作り上げました。

2018年度



2021年度



2019年度



2022年度



◆田原ゼミ（田原洋樹特任教授）による、日野市のマイクロツーリズム企画参加

多摩地域マイクロツーリズムプロジェクトが実施する「タマリズムコンテスト」に3件の企画を応募。日野市の観光まちづくりに向けた企画として1次審査を通過、実用化に向けた実証イベントを各企画それぞれ11月12日、13日、14日に実施しました。

企画①—地元食材で学ぶ ひのっこキッチン：コロナ禍で孤立した高齢者層とファミリー層とを繋げる企画。文化や料理、農業など体験型のマイクロツーリズムを通してコミュニティを創出します。実証イベントでは地元食材を使った料理を楽しみます。

企画②—自転車でバテバテ、痩せてモテモテ「バテモテ作戦」：コロナ禍によるコミュニケーションの減少と運動不足を、日野市の勾配を活かして解消。日野市の放置自転車を使用したサイクリングツアーで、ダイエットとコミュニティ作りに繋がります。※実証イベントでは、レンタサイクル等を使用。

企画③—ピストロ日野
～日野の特産を使ってスイーツを作ろう！～：日野市に有名な地域ブランドがないことから着想を得た、日野の特産を使ったスイーツ作りの企画。実証イベントで出された企画案は、将来の地域ブランド候補として市に提案します。



6. デザイン学部 産官学連携による地域活動

◆デザイン学部「立川活性化プロジェクト 2022」（立川市）

デザイン学部では3年生必修科目「企画表現5」において、地域の課題を解決するデザインに取り組んでいます。

2022年度は立川市と協働。5テーマ20の企画を提案し、その中から採択され実現したものを紹介します。

JR立川駅に掲出された横断幕は、立川市役所より示された課題の一つである「ブランドメッセージの周知等を契機としたシティプロモーション推進」に対して学生が提案したものです。



立川市のブランドメッセージ「立川くらいが、一番いい」は、立川の魅力である「都会的と自然の豊かさの共存」を表現することを狙って作成されたものですが、学生がリサーチしたところ、「立川の自然の豊かさ」が十分に伝わっていないことが明らかになりました。そこで学生たちは、「自然が豊富なまち・立川」を前面に押し出してアピールすることを提案し、デザインの力で表現しました。

また、立川の魅力発信動画4件や、「クリーンセンターたちむにい」の愛称ロゴをデザイン。この愛称ロゴは、クリーンセンター施設サイン、施設案内パンフレット、燃やせるごみ袋等に活用が進められています。



たちむにい

愛称ロゴは、クリーンセンターたちむにいの施設サイン、施設案内パンフレット、燃やせるごみ袋等に活用が進められています。

◆全国初！ 産官学で連携協力して実施する日野市指定「レジごみ袋」をデザイン（日野市）

日野市・イオンリテール株式会社・明星大学（デザイン学部）が連携して実施する、レジ袋削減を目的とした「レジごみ袋」の実証実験が、2022年9月から2024年3月までの予定で行われています。

「レジごみ袋」は、レジ袋代わりに使える日野市の新しい指定収集ごみ袋です。提携する店舗でレジ袋として購入が可能（通常のごみ袋と同額）で、市指定ごみ袋として再利用することで、プラスチック袋の数が実質半減へ。現在、日野市イオンスタイル多摩平の森と、日野市内のセブンイレブン店舗で販売中です。

デザインは、本学デザイン学部柳舜太さん（4年）。柳さんはこの実績により、明星大学が、課外活動を熱心に行った学生に対し、その成果及び努力をたたえて贈られる「2022年度明輝栄誉賞・地域貢献部門」にて表彰されました。



- ・日野市の花と木（菊の花と葉、かしの実と葉）のイラストを使用
- ・イラストや文字で中身を隠せる
- ・ポップなイラストでごみ袋らしさを軽減
- ・可燃を KANEN と表記し、レジ袋使用時の抵抗を減らす
- ・文字を下に配置し主張しないレイアウト

地域連携

1. 自治体との連携

明星大学では現在、以下の5つの近隣自治体と連携協定を締結しています。

日野市 青梅市 八王子市 あきる野市 多摩市

今後も様々な分野で地域活動、生涯教育の推進、人的および知的資源の提供を連携して進めてまいります。



◆連携市へ市民講座を提供

・「ひの市民大学」への講座提供（2023年3月18日）

この市民講座は、日野市と多摩市の公民館が連携し、市民に学びを提供するプロジェクト「たま学びテラス事業」となっています。

2022年度は、日野市近隣の5つの大学が提供する「大学連携コース」として実施され、明星大学は、第5回（3/18）に、理工学部櫻井達也准教授による「地球環境講座」を提供しました。

・八王子市「令和4年度 市民自由講座」への講座提供（2023年3月5日）

令和4年度市民自由講座に、人文学部人間社会学科小林一岳教授が「戦国時代の『徳川家康』」を提供しました。

・あきる野市中央公民館プログラミング講座（2023年3月19日）

情報学部山中脩也准教授が、小中学生を対象にしたプログラミング・ワークショップを、ハイブリット型で実施しました。

◆自治体・各種団体などでの委員・研修会活動紹介

理工学部	教員	職位	地域	名称	概要
環境学系	宮脇 健太郎	教授	日野市	3市（日野市・国分寺市・小金井市）ごみ減量推進市民会議	委員長
				日野市ごみ減量・リサイクル等推進協議会 年4回	日野市ごみゼロプラン（廃棄物基本計画）の検証と改訂改訂プランの案を提示
			府中市	府中市廃棄物減量等推進審議会	学識経験者
	亀卦川 幸浩	教授	昭島市	昭島市環境審議会	審議会会長
			相模原市	相模原市環境影響評価審査会	環境アセスメントに関する審査
物理学系	飯塚 礼子	非常勤講師	市川市	星空観望会	近隣の小中学生対象

人文学部	教員	職位	地域	名称	概要		
国際コミュニケーション学科	菊地 滋夫	教授	全国	大学セミナーハウス新任教員研修セミナー「ポスト・コロナのアクティブ・ラーニング」	委員長		
人間社会学科	熊本 博之	教授	品川区	品川区介護保険制度推進委員会	委員長 年3回程度		
福祉実践学科	加藤 めぐみ	教授	青梅市	青梅市防災会議	委員。青梅市の防災行政会議への参加、提言 年2回程度		
			川松 亮	常勤教授	世田谷区	世田谷区児童福祉審議会	委員
					荒川区	荒川区児童福祉審議会	副委員長
					中野区	中野区児童福祉審議会	委員長
					多摩地域	社会福祉法人武蔵野会	評議員
						社会福祉法人愛恵会乳児院	評議員
	都内	社会福祉法人カリヨンこどもセンター	評議員				
	妹尾 和美	教授	東京都	令和4年度東京都サービス管理責任者等研修検討会	委員		
	吉川 かおり	教授	神奈川県	神奈川県障害者施策審議会	委員		
	山井 理恵	教授	武蔵野市	吉祥寺東町1丁目市有地利活用事業者審査委員会	武蔵野市に新たに建設する施設に関する検討		
			日野市	社会福祉法人おおぞら	監事		
			武蔵野市	武蔵野市地域包括ケア推進協議会	会長		
				社会福祉法人至誠学舎東京吉祥寺ホーム	利用者からのサービスに関するヒアリングや相談		
武蔵野赤十字病院地域医療支援病院運営協議会				武蔵野赤十字病院と地域の病院・診療所の連携に関する検討			
武蔵野市健康福祉総合計画・地域共生社会推進会議委員	武蔵野市の保健医療福祉に関する検討						
縄岡 好晴	准教授	あきる野市	あきる野市障害者通所施設あり方検討委員会会議	アドバイザー			
		昭島市	障害者自立支援推進協議会	副委員長			

経済学部	教員	職位	地域	名称	概要
経済学科	白井 雅子	特任教授	東村山市	東村山市情報公開運営審議会	委員
			相模原市	相模原市情報公開・個人情報保護・文書管理審査会	第3部会会長
			東村山市	東村山市入札等監視委員会	市の公共事業の入札状況についての報告を受けて審議。

情報学部	教員	職位	地域	名称	概要
情報学科	小暮 淳	教授	あきる野市	あきる野市DX推進方針に対する意見	学識経験者

教育学部	教員	職位	地域	名称	概要
教育学科	長谷川 裕彦	教授	静岡県	静岡県中央新幹線建設事業影響評価協議会委員	リニア新幹線南アルプストンネル工事に 関する環境影響調査結果の検討
	星山 麻木	教授	逗子市	逗子市教育委員会	教育委員
			国立市	くにたちこどもの夢・未来事業団	理事
	吉富 芳正	教授	国	スーパーサイエンスハイスクール (SSH) 運営指導委員	東京学芸大学附属国際中等教育学校の実 践研究に対する指導助言
	樋口 豊隆	特任教授	新宿区	新宿区学校第三者評価委員	西早稲田中学校、戸塚第三小学校への訪 問
			武蔵野市	教育委員会事務局	事務事業評価委員
	明官 茂	常勤教授	日野市	都立七生特別支援学校学校運営連絡 協議会	評価委員。学校の教育内容への助言、学 校評価の作成
	吉田 恵	非常勤講師	埼玉県	第 34 回 青少年コンサート	次代を担う若手音楽愛好家のためのコン サート支援 青少年コンサート実行委員
神田 正美	非常勤講師	東京都	都立八王子拓真高等学校 学校運営 連絡協議会	委員。学校運営に関する提言、協力	
		多摩市	多摩市立落合中学校 学校運営協議 会	委員。学校運営に関する提言、協力	

経営学部	教員	職位	地域	名称	概要
経営学科	安岡 寛道	教授	相模原市	相模原市駐車場ビジョン検討委員会	副委員長
	谷井 良	教授	日野市	日野市手数料、使用料等検討委員会	委員長
	田原 洋樹	特任教授	国	観光庁観光コア人材育成スクール	教育評価委員会委員

心理学部	教員	職位	地域	名称	概要
心理学科	岡林 秀樹	教授	東京都	東京多摩いのちの電話	常任理事
	小貫 悟	教授	日野市	第 6 次日野市特別支援教育推進計画 策定委員会	学識経験者
	石井 雄吉	教授	あきる野市	あきる野市自殺対策推進協議会	委員
	竹内 康二	教授	昭島市	昭島市児童発達支援計画審議会	会長
	藤井 靖	教授	豊島区	豊島区教育センター教育相談グルー プ	スーパーバイザー
	福田 憲明	教授	日野市	日野市子どもの貧困対策推進委員会	委員長
	富田 悠生	特任准教授		日本共生社会推進協会 学術編集委 員会	副委員長

建築学部	教員	職位	地域	名称	概要
建築学科	西浦 定継	教授	国土交通省	企画評価委員会	国土政策に関するプロポーザルの評価
			多摩市	都市計画審議会職務代理（副会長）	都市計画に係る意思決定
				都市計画マスタープラン策定委員会	都市計画マスタープランの策定
			青梅市	都市計画審議会 副会長	都市計画に係る意思決定
				環境審議会 副会長	環境政策、計画に係る意思決定
				景観審議会 委員	景観行政にかかわる意思決定
			八王子市	下水道事業運営検討委員会 委員長	下水道事業に係る意思決定
				西八王子駅周辺まちづくり方針策定懇談会	西八王子駅周辺のまちづくりに関する検討
			日野市	都市計画審議会 委員	都市計画に係る意思決定
			東大和市	空き家対策検討審議会 会長	空き家大祭に係る審議
			武蔵村山市	空き家対策検討審議会 委員	空き家大祭に係る審議
			福生市	総合戦略評価委員会 副会長	総合戦略に関する評価
			日野市	日野市公契約審議会	会長
			相模原市	相模原市都市計画審議会	副会長
	矢島 寿一	教授	八王子市	八王子市水循環部水環境整備課	八王子市の総合的な治水対策について
			相武国道	総合評価審査部会	相武国道発注工事入札に関わる総合評価審査
			昭和記念公園	総合評価審査部会	昭和記念公園発注工事入札に関わる総合評価審査
			川崎市	総合評価審査部会	川崎市発注工事入札に関わる総合評価審査
			多摩川水系	総合評価審査部会	京浜河川発注工事入札に関わる総合評価審査
			相模川水系	総合評価審査部会	相模川水系広域ダム発注工事入札に関わる総合評価審査
深井 祐紘	准教授	日野市	万願寺土地区画整理審議会	学識経験者	

2. 各種団体との連携・協働・学生参加

明星大学は、多摩地域を主体として活動する団体と連携・協働し、地域活性化、人的交流、市民活動への協力を行っています。また、学生たちは、様々な地域活性化をテーマにしたコンテストに参加しています。

◆公益社団法人 学術・文化・産業ネットワーク多摩

多摩地域の大学を核として、大学、企業、団体、行政が加盟する「産官学」の地域コンソーシアムです。

・常任理事会、大学部会への参加

・第12回新任教員研修セミナー（オンライン）への協力

（公益財団法人大学セミナーハウス主催、公益社団法人学術・文化・産業ネットワーク多摩共催）

菊地滋夫教授（明星大学学長補佐・人文学部国際コミュニケーション学科）が、運営委員長として参画しています。

・「第8回 多摩の学生 まちづくり・ものづくりコンペティション2022」

まちづくり・ものづくりコンペティションは、多摩地域の課題解決をテーマに、若者が研究した成果を発表するネットワーク多摩主催の協議会です。

今年の募集テーマは「多摩の明るい未来は、挑戦する君達によって拓かれる！」。

建築学部建築学科 齊藤研究室の学生6名（3人組2チーム）が参加し、それぞれの案で応募した結果、チーム「クルトン」が企画タイトル『絵巻トンネル 歴史流れる新たな道』で奨励賞とビジネス奨励賞をダブル受賞しました。

◆大学コンソーシアム八王子

大学・市民・経済団体・企業・行政などが連携・協働し、魅力ある学園都市をめざし、2009年4月に設立されました。八王子市及び近隣の25大学等が加盟しています。



・「令和4年度留学生座談会」に本学学生3名が参加（7/4）

八王子市学園都市センターギャラリーホールにて、大学コンソーシアム八王子主催の留学生座談会に本学からの出席者として、留学生の教育学部1年マジウィック ウィリアムさん、グループワークの学生ファシリテーターとしてデザイン学部3年八本元暉さんと教育学部3年青木萌実さんが参加しました。

留学生座談会は、留学生支援事業として外国人留学生の交流や日本に対する理解を深める目的で実施されています。

今年度は「日本へ留学する仲間たちへのアドバイス」がテーマで、留学生の不安や来日後に困ったことについて留学生同士で話し合い、その内容を踏まえてこれから留学を考える学生へメッセージを作成しました。



グループワークでのファシリテーターを学生が務めるのは今回が初の企画で、グループワークでの発言を促すなど、全体の意見をまとめ、最適な結論を出すことに貢献しました。

・各委員会への参加

大学コンソーシアム八王子産学公連携部会委員
教育学部鈴木時男教授
その他、各部会にて委員を務めています。

・第19回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラムへの協力
(10/15,16)

10月15日と16日、2022年度全国大学コンソーシアムの大会が、八王子市で開催され、明星大学は、同時開催の八王子地域の大学等による合同学校説明会に参加・協力しました。



・「第14回大学コンソーシアム八王子 学生発表会」(12/3、4)にて優秀賞受賞

[口頭発表 優秀賞]を、理工学部の学生3名が受賞しました。

- ・低濃度領域の測定に基づくHPLCの定量性評価
新田 有さん (環境学系上本道久研究室)
- ・o/w ピッカリングエマルションの安定化に及ぼす真球状リグニン粒子の粒径の影響
吉利 直樹さん (環境学系吾郷万里子・生物資源材料研究室)
- ・二粒子径粒子の添加によるGFRPの不燃性の実現
菅井 美柚さん (機械工学専攻小山昌志・複合材料研究室)



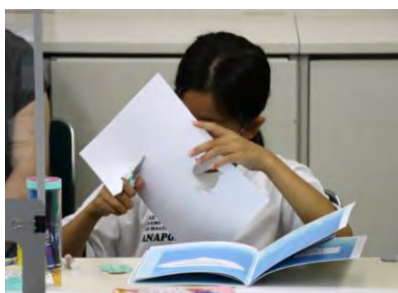
・『夏休み子どもいちょう塾』へ講座を提供(7/23)

7月23日に開催された大学コンソーシアム八王子主催の子どもイベント『夏休み子どもいちょう塾』に、教育学部高橋和子先生が講座「絵本+英語=どうなるかな?」を提供しました。



子どもたちは、各々好きなキャラクター(海の生物)を切り取って貼ったり、仕掛けを作ったりしながら、自分だけの英語絵本を作り上げます。絵本の会話を追いながら生物の名前を英語で書いたり、完成した絵本を読み聞かせしたりすることで、自然と英語に触れることができ、終了後のアンケートでも、『楽しかった』『またやりたい』『英語がしゃべれた』など、好評でした。

講師の高橋和子教授からは「英語を扱いながら、形になるものを作る企画の大切さを改めて感じています」とコメント頂きました。



・八王子学園都市大学『いちよう塾』（市民講座）へ講座を提供

学部	講師名	主題	副題
前 期			
教育学部	金澤 修	ラテン語を始めてみよう I	楽しく学ぶラテン語初歩の初歩
教育学部	金子 祥之	『平家物語』の世界を読む 第3期	「盛者必衰」の向こう側へ
後 期			
教育学部	金澤 修	ラテン語を始めてみよう II	楽しく学ぶラテン語初歩の初歩
教育学部	金子 祥之	『平家物語』の世界を読む 第4期	盛者必衰の向こう側へ
教育学部	山本 陽子	平安時代の絵巻を楽しむために	源氏物語絵巻から鳥獣戯画まで

◆美しい多摩川フォーラム 会員

「美しい多摩川フォーラムは、多摩川を地域づくりのシンボルに掲げ、多摩川水系(多摩川・秋川・浅川・玉川上水等)の流域周辺地域の各主体(市民、事業者、行政、大学等)とイコールパートナーとして連携・協働し、持続可能な地域社会としての美しい多摩づくりを目指しています。」(美しい多摩川フォーラム HP より)

◆大学セミナーハウス 協力会員

大学セミナーハウスは、「高等教育機関における学生の研学及び修練の諸活動への協力並びに高等教育機関相互の交流に努めるとともに、教育研究成果の一般への普及を図り、もってわが国の高等教育機関並びに知識基盤社会の向上発展に寄与するための事業を展開しています。」(大学セミナーハウス HP より)

◆その他学生参加のコンテストなど

・一般財団法人学生サポートセンターでの各種受賞

- ① 令和4年度「学生ボランティア団体活動体験レポート」優秀レポートとして採択されました。

明星大学文化会教育研究部 藤田真帆さん

「今だからこそ私たちにできる活動を」(写真)

- ② 令和4年度(第20回)「学生ビジネスプランコンテスト」努力賞受賞

経営学部経営学科 谷井ゼミ

課題：社会課題を解決するビジネスプランを考える

提案：マッチングサービス「まご助」

高齢者に焦点を当て様々な課題を解決するサービスの提案



・「第4回 PlanT ビジネスプランコンテスト 2022」にて「準グランプリ」を受賞

経済学部経済学科4年生吉住 海斗さんが、12月11日に開催された「第4回 PlanT ビジネスプランコンテスト 2022」にて「社会的養護に特化したクチコミ求人サイト事業」の提案についてプレゼンし、「準グランプリ」を受賞しました。

活動例紹介

1. 公開講座・イベント

月日	学部等	名称	概要
7/16	通信教育部	「GIGA スクールで変わる教育現場の「今」と「未来」～教育現場における ICT 活用～」特別セミナー（オンライン）	実際に多摩地域を中心に教育現場へのタブレット導入や、運用についてのアドバイスをを行っている株式会社ドコモ CS 多摩支店にご協力いただき、現場目線での取組みの現状や課題についてパネルディスカッション形式で伺い、これから教員を目指される方の不安や疑問を解消していくとともに、「新たな学び」への課題などについても知る機会とするセミナーを開催しました。
8/1~6	人文学部国際コミュニケーション学科	明星サマースクールプロジェクト 2022 英語クラス	明星大学生と世界各国から集まった国際ボランティアが先生となり、英語の授業を行います。教科書を用いず、会話中心の授業で教室内外の活動を通して英語を学びます。（小学校 1 年生～中学校 2 年生）
8/2~5	人文学部国際コミュニケーション学科	明星サマースクールプロジェクト 2022 夏の英語教室	be 動詞と一般動詞の区別、否定文・疑問文など基礎的な英語の文の作り方を教えます。英語を習いたての生徒さん、授業のおさらいをしたい生徒さんのためのクラスです。（小学校 5・6 年生～中学 1・2 年生）
8/3~5	情報学部	明星サマースクールプロジェクト 2022 デジタルサマースクール	本学情報学部の学生によるプログラミングを体験してもらうプロジェクト。3 日間で実際に PC 等を使いながらプログラミングを行います。インターネットが繋がっていればどこからでも鑑賞することができるデジタル作品を作成します。（小学校 6 年生～中学 2 年生）
8/4~5	情報学部	IoT を身近に感じて、プログラミングを体験しよう	電子情報通信学会東京支部との共同主催。情報学、電子情報通信分野の面白さ、素晴らしさの体感を目的としており、本学の学生が主体となり、講義で作成した作品を説明したり、プログラミングにより IoT デバイスの動きを変えることを楽しんで頂きました。今年はオンライン 2 日間開催。（中高生）
8/7	理工学部	夏休み科学体験教室	理工学部の学生が、5 つのテーマで小中学生のための体験教室を運営 テーマ 1：スマートフォンでミルククラウンを撮影しよう！ テーマ 2：機械材料の可能性を体感する～形を覚える、忘れる材料～ テーマ 3：電波を送って音を鳴らそう ～コヒーラ検波器を自作しよう～ テーマ 4：磁石にくっつく不思議な液体、「磁性流体」を作って遊ぼう テーマ 5：LED がホタルのように光る回路を作ろう
8/19	発達支援研究センター	2022 年度明星大学発達支援研究センター 公開講演会「学習支援の地図と支援教材バンク」	読み書きにつまずきのある児童（LD）に向けて作成した 500 以上の教材を公開している「支援教材バンク」の活用について、本センターが基礎理論とする学習支援の地図や、iPad を用いた学力アセスメントツール LD-SKAIP との連携の観点から考えます。
8/28	情報学部	オンライン公開講座「はじめてのデジタルフォレンジックス演習」	～サイバー攻撃の痕跡を実態解明に活かす技術～マルウェアメールによるウイルス感染などのインシデント発生後の実態解明に必要なデジタルフォレンジックス技術を学びます。セキュリティ対策に興味を持つ初学者向け。
11/5、 12/10、 2/11 全 3 回	デザイン学部	デザインを学びたい高校生のための公開講座「DeXT (Design NEXT)」	自分たちの暮らす社会に関心のある高校生に向けて、デザイン学部の専任教員がデザインの本質や基本を伝えながら、デザイン学部の学生と一っしょに企画を考え、それにふさわしい表現を模索して提案するカリキュラムです。 テーマ：府中市の観光 課題：府中市の観光資源を PR するためのおみやげのパッケージ提案

月日	学部等	名称	概要
11/12	心理相談センター	2022年度 心理相談センター 公開講演会	「こころの時代 -今、心理専門職に求められるものは-」奈良大学教授の井村修氏を講師にお招きし、公開講演会を開催しました。
12/3	教育学部	「第20回 教育・保育セミナー 保育ワークショップ」を開催	パントマイムを遊び尽くそう～そこに無いからこそできる表現～ オンライン (保育園、幼稚園、小学校教諭他、講座に興味のある方) 《パントマイムのお兄さん》こと金子しんぺい氏をお招きしてワークショップを行いました。
12/3	人文学部国際コミュニケーション学科	学生が字幕をつけたドキュメンタリー映画「地中海のライフガードたち」を上映	2014年より継続の、UNHCR 難民映画祭のパートナーズ上映会。2022年度は、『地中海のライフガードたち』を明星大学内で上映。上映作品の字幕翻訳、特別上映会の企画・運営・PRを「映像翻訳」講義履修生が行いました。
12/10	人文学部国際コミュニケーション学科	「冬の英語教室」	初級コース (中1レベル) と中級コース (中2・3レベル) にわけて、英語の文法を本学の学生がオンラインでわかりやすく教えます。
12/16	人文学部国際コミュニケーション学科	Africafe 2022 ～ウスビ・サコ先生と語る教育と未来～	西アフリカ・マリ共和国出身で京都精華大学元学長ウスビ・サコ先生をゲストに、ゼミ生たちと日本の教育と未来をめぐって語り合いました。また、ゼミ生たちがアフリカ料理にチャレンジする様子や、情報学部情報学科の学生たちによる素敵な演出も配信しました。
1/28、2/4	情報学部	情報学部 オープンラボワークショップ「JAM2023」	講師として、メディア・アート作品や広告プロジェクト、ライブイベント演出などでエンジニアとして活躍する、本学非常勤講師の大石彰誠氏、株式会社スタジオ・アルカナの遠藤勝也氏を招聘、情報学部実習指導員である武富拓也氏とワークショップを開催。オリジナルランプ制作をテーマとし、ハードウェアからソフトウェアを横断したプログラミングを扱い、仮想世界と物理世界との関係性を考えるきっかけを提供しました。
2/3	デザイン学部	2/3,4 第6回卒業研究展を開催	学生一人ひとりが社会と向き合い、調査と分析から課題を明確にし、解決方法を提案する様子や多様なデザインの研究成果をご覧いただきました。
2/11	情報学部	情報学部 「TAMABLE 展」を開催 2/11,12	情報学部プロジェクト系科目である「プロジェクト実習・実験1」「プロジェクト実践」の最終成果発表として、多摩センターのパルテノン多摩で学生展示を実施。 今回の展示のテーマは「TAMABLE」です。TAMABLEは明星大学が位置する"多摩"地区を意味する「TAMA」と"できる"、"可能な"を意味する「able」を組み合わせた造語です。情報学を利用して多摩地区のさらなる可能性を引き出すという意味が込められています。

IoTを身近に感じてプログラミングを体験しよう

概要
開催日時：A日程、B日程のどちらかを選択してください
A日程：8月4日 (木) 14:00～15:30
B日程：8月5日 (金) 13:00～15:30
8月9日 (金) 14:00～15:30
8月17日 (日) 13:00～15:30
会場：オンライン (Zoom) アクセス方法は申し込み後にご案内いたします
対象：中・高生(要申込必要)
申込方法：Webから申し込みいただけます
[https://koudyaku.hiro.meisei-u.ac.jp/sundatab/]

講座内容
・ 海賊船、作品制作
・ Scratch3を用いたプログラミング体験

定員 20名

スケジュール

主催 明星大学情報学部

共催 電子情報通信学会 東京支部

本件に関するお問い合わせ 明星大学情報学部オンライン公開講座 is-1@otd.mf.meisei-u.ac.jp

2022年度 明星大学情報学部実習センター 公開講演会

LD等や学習に苦戦する子への **学習支援の地図と支援教材バンク**

2022年8月19日 (金) 18:30～20:30

参加無料

オンライン無料

申込締切 8月15日(日)

2022年度 明星大学心理相談センター 公開講演会

こころの時代
-今、心理専門職に求められるものは-

2022年11月12日 (土) 13:00～15:00

無料

100名

講師 井村修 氏

2022年11月5日(日) 17時

明星大学心理相談センター 情報学部実習センター 2-1-1 TEL. 042-591-5993 (公開講演会)

オープンラボ・ワークショップ【JAM2023】

P5.jsグラフィックから作る/制作するオリジナルランプ

明星大学情報学部主催

2. 学友会・ボランティア活動

月	実施した団体	地域	名称	概要
継続	教育研究部	日野市	日野市内の子ども会活動を運営	日野市内の子ども会でのイベント企画、サマーキャンプ運営、地域清掃参加など
継続	どろんこの会	多摩地域	日野市、八王子市、府中市、多摩市、町田市、世田谷区、相模原市など	文化センターや公民館でのなどで、子どもたちへの遊びの提供や、レクリエーション大会、お祭り、防災イベントなどの企画・運営、協力
継続	音楽ボランティアサークル Freedom music	日野市	二水会	ミニコンサート
5/21~1/28	音楽ボランティアサークル Freedom music	日野市	ふれあい学部 笑顔で唄って元気に！	参加者の方に、音楽療法活動を行う。表記期間で10回実施。
5/7	防犯ボランティア隊 MCAT	日野市	土方歳三忌	石田寺と高幡不動尊での受付・案内・新型コロナウイルス対策
5/28	防犯ボランティア隊 MCAT	日野市	高幡参道サムライフエスタ	受付・設営・片付け等運営補助
7/1、2	防犯ボランティア隊 MCAT	日野市	高幡不動参道七夕祭り	設営、受付、ちびっ子短冊作り、クールアースデー水打ちイベント。
7/2	音楽ボランティアサークル Freedom music	日野市	谷仲山子ども会お楽しみ会	音楽レクリエーション
8/9、12	教育研究部	日野市	イオンモール多摩平の森夏休み子供向けイベント	ミニ縁日(スーパーボールすくい、スライム作り、風鈴作り)
8/20,9/10	教育研究部	日野市	子ども会サマーキャンプ	日野市内の子ども会サマーキャンプの運営
9/25	音楽ボランティアサークル Freedom music	八王子市	高尾の森わくわくビレッジ	ミニコンサート
10/1	音楽ボランティアサークル Freedom music	日野市	イオンモール多摩平の森オクトーバーフェスタ	イベントにてステージ参加
10/9	音楽ボランティアサークル Freedom music	日野市	みんなで音楽を楽しむプロジェクト「みんなでSDGs」を開催	ご来場の皆さまに手作り楽器を作ってもらい、一緒に演奏を楽しんだり、ダンスや「にじ」を手話で歌ったりなど、楽しみながらSDGsを体験して頂きました。
10/10	教育学部学生有志	日野市	日野市スポーツレクリエーションフェスティバル NHK はりきり体育ノ介体育教室に参加	教員を目指す本学の学生4名が協力参加、出来る楽しさと体育の楽しさを体験してもらうことを目的に、体育の指導や補助を行いました。
10/22、 11/5、 11/19	男子ラグロス部	日野市	ちょっとお散歩 & 青空たいそう ~with コロナも元気に過ごす	明星大学ラグロス部によるラグロス教室 【対象】日野市内在住の小1~6年生
10/27	防犯ボランティア隊 MCAT	日野市	第39回放置自転車キャンペーン	広報啓発運動、駅頭広報活動及び駅前放置自転車等の撤去活動
10/29~31	星友祭実行委員会	日野市	第57回学園祭『星友祭』	一般入場可(予約制・人数制限あり)。
11/12、13	防犯ボランティア隊 MCAT	日野市	もぎたてマルシェ	エコアラ・エコクマの着ぐるみによる環境普及活動

月	実施した団体	地域	名称	概要
11/19	自転車競技部	八王子市	第43回いちょう祭りで交通安全イベント	子ども自転車（補助はずし）教室を開催
11/20	ダンス部 DASH!	立川市	ららキャン DANCE STAGE! in ららタチフェス	立川市近隣の高校・大学のダンス部、プロスポーツアリーダーがダンスパフォーマンスを披露。
11/23	防犯ボランティア隊 MCAT	日野市	第15回たかはたもみじ灯路祭り	会場設営、会場内での誘導、警備、会場片付け
11/26	教育研究部	日野市	夢フェス20	工作企画（スライム等）日野市立夢が丘小学校周年行事委員会
12/15	教育研究部		令和4年度「学生ボランティア団体活動体験レポート」優秀レポート	全国学生サポートセンター主催「今だからこそ私たちにできる活動を」藤田真帆さんのレポートが採択されました。
2/11、12	男子籠球部	日野市	バスケットボールクリニック（2日間開催）	次ページに記事あり
2/23,3/11	おもいやりサークル SMILY	大学	発達障害のある子どもたちのレクリエーション	新聞プールやストラックアウト、工作などを行い22名のお子さんが参加しました。
3/15	Sun-Flower	日野市	地域の子ども向け「レジン教室」	明星地区つながりの家「アムール」にて、地域の子ども（大人も可）を対象に、レジンでオリジナル手鏡をつくる「レジン教室」を実施
3/30	おもいやりサークル SMILY	国立市	国立市とのコラボイベント『おしごと体験ラボ』を開催	矢川プラスのプレオープン企画として、『おしごと体験ラボ』（乳幼児から中学生を対象）を開催、来場者には、学生が考えた企画を元に、ミュージシャン体験や編集者体験、科学者体験など、様々な職業を体験頂きました。

◆令和4年度日野市民活動支援補助金「若者チャレンジ！部門」に本学から2団体が採択

この補助事業は、学生など若い世代の人たちの感性で日野市内の課題解決や魅力向上を図る活動を支援するものです。採択された事業内容に基づき、以下の日程でイベントを実施しました。

「Freedom music」：みんなでSDGs！

みんなで音楽を楽しむプロジェクト

10月9日：みんなで音楽を楽しむプロジェクト「みんなでSDGs」を日野市イオンモール多摩平の森にて開催。ご来場の皆さまに手作り楽器を作ってもらい、一緒に演奏を楽しんだり、ダンスや「にじ」を手話で歌ったりなど、楽しみながらSDGsを体験して頂きました。



「Sun-Flower」：今こそみんなでつながろう

大学近隣の空き家を使ったサロンを拠点に、主に地域の高齢者のコロナ禍で閉塞的になったことによる失われたつながりを取り戻すことを目標に、新たなつながりをつくるなど、今できる活動から始めました。

3月15日：明星地区つながりの家「アムール」（大学近隣の空き家サロン）にて、地域の子どもと大人を対象に「レジンでオリジナル手鏡をつくろう！」をテーマにレジン教室を実施しました。

◆明星大学男子籠球部×日野市市民の森ふれあいホール（シンコースポーツ・アズビル共同事業体）の協力による バスケットボールイベント

日時：2023年2月11日（土）、12日（日） 場所：日野市市民の森ふれあいホール

内容：・バスケットボール教室（小学生対象）・バスケットボール教室（中学生対象）
・大人女子バスケ ・高校生と明星大学生の練習試合

※この模様は、TOKYO MXの番組「トウキョウもっと！2元気計画研究所」でも映像として流されました。

【男子籠球部からのメッセージ】



1. 地域の小中学生と大学生のバスケ

明星大学男子籠球部では、学生自身の成長や卒業後の社会勉強も含め、様々な人と関わることを大切にしています。大学までバスケットボールを続けるほどバスケが大好きで、言ってしまうとバスケしかしてこなかった学生も多いので、好きなことを通して、社会と繋がり、様々な年代の人と関わるのが、学生の経験になると考えます。

子供たちのバスケは昔と比べ、色々なスクールや、指導方法の確立、動画の普及により、レベルが高くなってきています。その中でも明星大学男子籠球部は1対1や、ドリブル技術を磨くことを1つのスタイルとしているため、そういった点を小中学生に伝えました。



2. 大人女子バスケの目的

バスケットは男女共に中高の部活などもありバスケ人口はとても多いスポーツです。日ごろの運動不足、健康維持のために体動かしたいと思った時に、経験したスポーツとして身近に思いつくと思いますが、大人の女性、特に主婦層が始めようとしても、体育館を借りたり、チームに入ったりなどハードルが高いのが現状です。そこで、明星大学男子籠球部が場所を提供できないかと思い、今回の実施となりました。参加した方からは、「バスケはずっとしたかったけど、中々できなかったのも、とても楽しかった！！」と喜んでいただくことができました。

本学籠球部のファンになってもらい、応援してもらえたらありがたいですし、学生自身も社会人と関わるができるいい機会になりました。



3. 強豪校高校生×大学生の試合

高校生との練習試合は時々行っていますが、今回は地域の中学生にも試合を見ていただくことで、高校でもバスケットをしたいという中学生の進路選択の一助になれるのではないかと思います。

4. 全体を通して

学生が参加者（地域の方々や子どもたち）と関わることが何より一番良かったと思います。参加者の満足度も高く、このようなイベントを求められているということも再認識できました。また、参加者だけではなく、市役所の方や、体育協会の方にも本学学生の取り組みを見ていただくことができ、さらにはテレビ取材や実際に放映にまでされ、当部の取り組みに興味をもっていただけて良かったです。

特に、大人女子バスケについては、新たなニーズとして認識できたので、今後の地域貢献活動のコンテンツとして今後も開催できればと思います。また、市内外の小中学校の先生方、ミニバスチームとのパイプ作りもでき、有意義なイベントとなりました。

3. 学部・教員等による連携活動

理工学部					
学科	教員	職位	地域	名称	概要
総合理工学 科	学生		八王子市	第14回大学コンソーシアム八王子学生発表会	口頭発表優秀賞に、理工学部の学生が入賞。
	和田 薫	特任教授	八王子市	2022年度 高尾山SDGsプログラム（生物多様性の認識と社会教育施設との連携）	生物多様性の認識へのアプローチを小中学校の理科授業として実施し、社会教育施設との連携を図り、専門家との協力のもとに行うプログラム。受講した学生は、本プログラムを実施する中学校へ実習補助者（インタープリター）として参加。
				連携出前科学教室	3歳から中学生までの受講者に「殻（カラ）から考える軟体動物の進化と生物多様性」のテーマでアンモナイト化石を用いた科学教室を実施。
物理学系	飯塚 礼子	非常勤講師	全国	TOKYO854 くるめら FM	ラジオ出演 「飯塚礼子の星空ガイド」解説
			全国	関東支部会	天文・科学教育普及による講演
			草加市	「漸草庵 星の旅と笛の調べ」	日本古来の天体の考え方、星空解説を簡易プラネタリウムの下、笛の演奏を時には重ねて講演
			全国	第36回天文教育研究会	天文・科学教育普及による講演
			市川市他	小学校理科教育	市川市・千葉市・松戸市・葛飾区にて、星空観望会など。
生命科学系	中村 克己	非常勤講師	横浜市	中小・ベンチャーの日本企業に対し、インドビジネスの支援	アドバイザー
環境科学系	亀卦川幸浩	教授	日野市	日野市環境フェア	基調講演「気候変動をあなたは知っていますか」
			多摩市	多摩市市制施行50周年記念市民提案事業シンポジウム「気候変動とアクション 私が進める住まいのCO2削減」	シンポジウムでの基調講演
	上本 道久	常勤教授	東京都	「TIRI クロスミーティング2022」にて講演	「マグネシウム合金中微量水銀の定量法開発と国際標準化」（ビデオ講演）
	櫻井 達也	准教授	日野市	「ひの市民大学：大学連携コース」	第5回「地球環境講座」講師
	柳川 亜季	准教授	大学	明星大学みどりのキャンパスプロジェクト	理工学部、経営学部、デザイン学部、教育学部、建築学部など幅広い学部学科の教員・学生や職員が集結。多摩地域でも有数の学内「里山」環境の過去と現在を知り、キャンパスの自然と歴史の全体を活かしていこうというアイデアを実施中。

人文学部					
学科	教員	職位	地域	名称	概要
国際コミュニケーション学科	毛利 聡子	教授	町田市	まちだ市民大学HATS まちだ市民国際学 人間の安全保障 (全8回)	第8回「混迷する国際秩序と人間の安全保障」国際学を学ぶ学生との座談会として、学生が参加
	橋本 卓	特任講師	日野市 立川市	国際交流活動・国際理解学習への協力	明星大学の留学生・日本人大学生による市の国際交流活動のボランティア運営スタッフとしての参加 (日野市) 明星大学の留学生による小学校訪問：異文化の紹介 (立川市)
人間社会学科	鶴沢由美子	教授	日野市	高大生のためのオンライン会社見学会主催	多摩大学長島ゼミ・明治大学奥山ゼミと協働で実施。
			日野市	ワーク・ライフ・バランス調査	日野市内の「仕事と生活の長を(WLB)」のとれた企業・団体を調査し、発信。
			多摩地域	社会調査実習(調布市・日野市・武蔵野市、他)	地域貢献ビジネスを対象に、参加・観察・インタビューなどを行いました。
	熊本 博之	教授	東京都	東京都・都民による事業提案制度(都民提案)「チャットボットによる子育て支援情報の発信」の提案	「子供にやさしい社会の実現」を図るものとして1,400万円の予算案が盛り込まれました。
			東京都	東京都・都民による事業提案制度(都民提案)「誰もが使いやすい東京都防災アプリ」提案事業が都予算案に反映	東京都防災アプリの機能を拡充し、子供や高齢者など、誰もが使いやすいアプリにすることで、災害対応力を向上させるという提案です。予算額1億7,600万円で都予算案に反映されました。
	小林 一岳	教授	八王子市	令和4年度 市民自由講座	「戦国時代の『徳川家康』」講師
竹峰誠一郎 (竹峰ゼミ)	教授	日野市	第3回日野市核兵器廃絶・平和都市宣言40周年イベント	アドバイザー：竹峰先生 インタビュアー：学生が参加	
		日野市	令和4年度平和活動推進補助金交付決定事業	学生発表「広島・長崎・福島の相互比較から探求する核・原子力と平和」と「広島・長崎から学ぶ平和への道筋-ジェンダー観点も踏まえて」が、補助金交付決定事業として採択されました。	
日本文化学科	勝又 基	教授	小山市	中央公民館講座	「教養大学◇江戸発信！粋な文化噺～浮世絵×歌舞伎・狂歌・落語～」
	青山 英正	教授		第2回賀茂真淵セミナー	賀茂真淵の万葉集注釈-近世におけるその位置づけ-
	田村 良平	教授		田村良平(村上湛)教授による文化講座の動画配信	鎌倉市鎌倉文学館の公式YouTubeチャンネルにて、文化講座「能に見る≪源平の人物ベスト10≫」を期間限定で配信

人文学部					
学科	教員	職位	地域	名称	概要
福祉実践学科	吉川かおり	教授	立川市	若者シンポジウム～「働く」「自立する」私たちの未来について語ろう！	テーマ：「働く」「自立する」私たちの未来について語ろう！
			江東区	「きょうだい児をきっかけに考える家族支援」講演会	講師
			岩手県	病気や障がいのある子の「きょうだい支援」について考える ～家族全体を支える大切さ	講演会講師
	山井 理恵	教授	八王子市	認知症サポーター養成講座・継続研修	八王子市高齢者あんしん相談センター、イトーヨーカドー八王子店における認知症などの顧客に対応して店舗やサービスの研修や調査
			日野市	社会福祉法人おおぞら監事	社会福祉法人おおぞらの事業内容に関する監査
	川松 亮	常勤教授	八王子市	八王子市要保護児童対策地域協議会館ブロック講演会	講師
			日野市	養育家庭体験発表会	『地域で子どもを育てる～子どもが安心できる居場所を地域に～』

◆熊本ゼミの「都民提案」

学生が立案した「チャットボットによる子育て支援情報の発信」の提案が、都民投票を経て東京都の事業として予算案に計上されています。

また、2022年度の提案「誰もが使いやすい東京都防災アプリ」も事業化対象候補となり、このたび予算額1億7,600万円にて令和5年度東京都予算案に反映されました。

No.1

チャットボット導入による 子育て支援情報の発信

出産・子育て
への支援

東京の子育てに関する情報をまとめた「ときよう子育て応援ブック」の内容を活用し、子育て相談のチャットボットを導入して、サービスの向上を図る。

ときよう子育て応援ブック

- 都や区市町村が実施している様々な子育て支援サービスを掲載した冊子
- 子供の年齢や困りごとの内容に合わせて情報を掲載

子育ての相談をしたい

こちらの情報はどうでしょう

- 子供の健康や成長のこと
- 保健所・保健センター
- 子育ての不安や悩み
- 子供家庭支援センター

チャットボット

ありがとうございます！

期待される効果

- ユーザーの入力したキーワードから関連性の高い情報が提示されることで、入手したい情報へのアクセス性が向上
- キーワードなどの分析を通じ、利用者のニーズを都が把握することで、子育て施策立案の参考情報として活用可能

No.9

誰もが使いやすい東京都防災アプリ

防災対策

東京都防災アプリの機能を拡充し、子供や高齢者など、誰もが使いやすいアプリにすることで、災害対応力を向上させる。



東京都防災アプリ

<機能の拡充イメージ>

- やさしい日本語を使用
- ふりがな表示
- 機能やコンテンツの整理

東京都防災アプリの利便性向上

期待される効果

- 子供や高齢者なども気軽にアプリを活用でき、防災情報へのアクセス性が向上
- アプリの豊富な防災情報が有効活用され、災害対応力が更に向上

◆日野市にて、令和4年度平和活動推進補助金交付事業が公募され、人文学部人間社会学科竹峰ゼミの学生2名の発表が採択されました。

テーマは下記の通り。2023年2月19日に、日野市多摩平の森産業連携センターPlanT イベントスペースにて、研究発表が行われました。

発表者1：広島、長崎、福島の相互比較から探求する核・原子力と平和

発表者2：広島・長崎から学ぶ平和への道筋-ジェンダー観点も踏まえて

経済学部					
学科	教員	職位	地域	名称	概要
経済学科	有志学生			経済学部経済学科 4 年生 吉住海斗さんが「PlanT ビジネスプランコンテスト 2022」にて「準グランプリ」を受賞	「社会的養護に特化したクチコミ求人サイト事業」についてプレゼン。「準グランプリ」のほか「NICT 賞」を獲得したことで、「起業家万博」への出場挑戦権が与えられました。
	波田野匡章	特任教授	日野市	地域参画ワークショップ 日野市とエム・ケー株式会社との共同プロジェクト 「日野市高幡で、ずーっと住み続けたいという賃貸マンションとは？」	高幡建替PJに関する、「このマンションに住み続けたいというアイデア募集」という課題に、学生が企画・アイデアを検討し発表を行った。明星大学の最寄りである高幡エリアを想定しながら、若い世代が住み続けたいと思えるためのアイデアや、仕事や家族構成が変わっても建物の中で住み替えられるような住まいを実現するアイデアをチームで発表した。
			八王子市	課題解決ワークショップ	八王子市の3所管（青少年若者課、保健対策課、環境保全課）から、行政上の問題・課題が学生に提示。検討結果を各所管職員にプレゼンテーションし、内容の評価やコメントをしていただき、有効な提案に関しては、八王子市の担当所管に採択され、実際に活用されています。
	碓 朋子	准教授	鳥取県	「とっとり副業・兼業プロジェクト 2022」の参画企業へ支援	公共工事後などに発生する刈草を環境に優しく地域に貢献するような形で活用している国内事例の調査ならびにそれに基づいた分析・提言などを遂行し、マーケティングの専門家としての立場からの支援・助言を行います。

情報学部					
学科	教員	職位	地域	名称	概要
情報学科	山中 脩也	准教授	全国	大学生らが優しく寄り添うプログラミング農園 「はじめてのプログラミング」 (5/9～7/14) (10/17～12/16)	COPERU Project（代表団体：明星大学）は、明星大学情報学部でのオンライン演習での取組を踏まえ、プログラミングに興味のある多くの方の学びを止めないことを目的として、プログラミング初学者を対象とした無料オンライン講座「はじめてのプログラミング」を開講。
			全国	指導者向け Web セミナー ～ "コンピュータとの対話" を誘発する「コードな学習」の環境構築とその背景～ (サーティファイ情報処理能力認定委員会主催)	小学校から大学において、初学者～実践レベルまで幅広い学習事例の共有を通じて、特に学習者に「コードを考えさせ形にさせる」授業の構成例や、「試行錯誤から理解を深める」対話型プログラミングの取り組み事例から、プログラミング学習について一緒に考えます。
			あきる野市	小中学生を対象にしたプログラミングワークショップ (ハイブリット形式)	実際にコーディング（コードを記述する）ことを体験し、プログラミングについて学んでいただきました。

教育学部					
学科	教員	職位	地域	名称	概要
教育学科	学部		青梅市	教育学部の学生が「青梅療育キャンプ」を開催	本年度は宿泊無しのディキャンプで、人数も総勢40名ほどと縮小、3年ぶりに青梅市花木園でキャンプを実施しました。
	有志学生		さいたま市	はみ出す力展 vol.4 -図工・美術の授業展-」へ教育学部学生と特別支援学校が共同で出品	幼稚園・保育園、小中学校、高等学校から大学までの美術教育にまつわる授業実践を紹介する展覧会に、教育学部学生の有志と特別支援学校の共同による作品「宙に浮く家」を出品。
	有志学生		日野市	日野市スポーツレクリエーションフェスティバル内 NHK はりきり体育ノ介体育教室に協力	教員を目指す本学の学生4名が、子供たちに体育の指導や補助を行いました。
	小林 一岳	教授	羽村市	ゆとろぎ市民講座「鎌倉殿と坂東武者—なぜ源氏将軍は3代で途絶えたのか—」	室町幕府、江戸幕府へと続く武家政権を生んだ鎌倉幕府を支え、後に実権を握った北条氏を含む坂東武者と、鎌倉幕府との関わりについて解説。
	高橋 和子	教授	八王子市	第12回夏休み子どもいちょう塾へ講座の提供	「絵本+英語=どうなるかな？」 八王子市の小学生対象に、英語絵本を制作。
	西本 絹子	教授	埼玉県	しいのみサマーセミナー「通常学級の特別支援教育支援員向けセミナー」	Zoomにて講演
	野沢 二郎	教授	常陸大宮市	常陸大宮市図書情報館が主催している小学生のための造形ワークショップ（夏休み工作教室）	テーマは「おしゃれな動物たち」。アルミ針金と新聞紙で作った動物に、子供のころに着ていた服を持ち寄り、表面に貼り付けて作製しました。
	長谷川裕彦	教授	長野県栄村	第2回栄村の文化と自然報告会	栄村で2022年に発生した2箇所の斜面崩壊についての報告
				苗場山麓ジオパーク講演会	講演「苗場山麓の地形特性とその魅力」
	樋口 修資	教授	神奈川県	新任副校長研修講座	「学校の危機管理とスクール・コンプライアンス」
	星山 麻木	教授	昭島市	特別支援教育・児童の発達支援に関する講演会	みんなと違って大丈夫～虹色なこどもの発達を理解する～
			相模原市	第3期相模原市発達サポート講座	基礎講座全7回 継続してB,Cコースあり
			調布市	調布市子ども発達センター 令和4年度市民講演会	「こどものイヤイヤ!かんしゃく!さあ、ママとパパはどう向き合う?」講師
			横浜市	令和4年度瀬谷区人権啓発講演会	多様性の尊重と支援について
多摩市			「いろんな友達とわたし～親子で考える教室のダイバーシティ～」	親が子どもにも多様性への理解を伝える時の心構えなど 講演会	
羽村市			特別支援教育講演会あなたも『虹色なこどもたちサポーター』	羽村市公式 YouTube チャンネルによるオンデマンド配信	

教育学部

学科	教員	職位	地域	名称	概要
教育学部	藤枝 充子	教授	さいたま市	社会福祉法人ひなどり保育園 浦和ひなどり保育園 園内研修会	保育におけるドキュメンテーションについての研修
			埼玉県	埼玉県保育士等キャリアアップ研修事業	国が行っている保育士等キャリアアップ研修事業に基づき、埼玉県が実施する保育士の専門性の向上、リーダー的職員の育成のための研修事業。
	森下由規子	教授	青梅市	特別支援教育講演会	通常の学級における支援の充実を考える～環境整備のためにできる連携支援とそれぞれの役割～
			立川市	発達に不安を抱える子の保護者支援講座	子どもたちが安心してのびのび成長できるように、就学時にどんな視点で就学先を選べばよいか、保護者と学校とでどのような支援をしていけばよいか、そのコツを学びます。
	吉富 芳正	教授	福島県	校長のためのマネジメント講座	「カリキュラム・マネジメント」について講演
			東京都多摩地区	アクティブ・ラーナー研修会	「カリキュラム・マネジメントの実現ー子どもが伸びる学校教育を創るー」について講演
			茨城県	ベテラン教員研修講座	「カリキュラム・マネジメントの推進」講演
			神奈川県	新任副校長研修講座	「カリキュラム・マネジメント」について講演
	樋口 豊隆	特任教授	東京都	デジタル教科書に関する有識者との意見交換会	学識経験者
			福生市	福生市立第一小学校道徳講演	小学校6年生へ道徳講演 学生4名参観
			武蔵村山市	大南第四中学校道徳ライブ	学生4名がライブのボランティアスタッフとして参加
			狛江市	中学校生徒会長サミット	学生8名が参加
			江戸川区	江戸川区立第四葛西小学校・二之江小学校研究発表会	学生4名が参加
			北区	北区立田端中学校生徒会役員と学生の意見交流会	学生13名参加。田端中学校生徒会規約改正に向けて、学生がファシリテーターとして参加する。
			名取市	なとり復興プロジェクト	4年生最後の授業でなとり復興プロジェクトの絵灯籠の文字づくりに参加。
			福山市	福山市立鳳中学校区研修会講師	自尊感情の研究
			立川市	立川第五中学校校内研修会講師	カリキュラムマネジメントの研究
			町田市	町田市立堺中学校研修会講師	自尊感情の研究
			新宿区	新宿区教育委員会新任教員研修会	人権教育に関する講師講演
			府中市	未来につなぐ府中2020レガシー講演会	大野靖之さんによる道徳授業ライブへのボランティアスタッフとして学生7名と参加
神田 正美	非常勤講師	八王子市	八王子市教員研修会	「生徒理解」に関する研修講師	
		あきる野市	あきる野市立中学校教育研究会(社会科部) 研究授業	研究授業講師	

経営学部

学科	教員	職位	地域	名称	概要
経営学科	学部			TAMA NEXT リーダープログラム 14 期生（20名）	多摩地域の次世代ビジネスリーダーを育成することを目的に開設されたプログラム「TAMA NEXT リーダープログラム（多摩信用金庫・明星大学経営学部共催）14 期を実施
	片野 浩一 (片野ゼミ)	教授	日野市	VTuber によるデジタルスタンプラリー	学生 VTuber 藍沢ゆうきさんと日野市高幡不動尊近辺のスポットを巡るスタンプラリーを、学生が設計から運営まで担当。商店街のにぎわいを創出の支援ができることを期待して実施しました。
	谷井 良	教授		産学連携プロジェクト報告会	軒先株式会社との産学連携プロジェクトにて、「遊休スペースを使って SDGs に関連した新しい事業・サービスを考え、提案する」をテーマに取り組みました。
	谷井 良 (谷井ゼミ)	教授		「第 20 回学生ビジネスプランコンテスト」	谷井ゼミの学生が、努力賞を受賞
	谷井 良 中嶋教夫	教授 教授	八王子市	“機能性ジェラート”をどのように訴求する？	2 年生の授業科目「経営基礎 3（事業承継・起業コース）」では、ジェラートを製造・販売する有限会社オネスト（東京都八王子市）とのコラボ授業として”機能性ジェラート（ジェラートに味以外の機能を加えたもの）”の商品企画提案に取り組みました。
	伊藤 智久	准教授	経済産業省	わたしの起業応援団	女性起業家支援プログラムアドバイザー
			全国	EWW 女性起業家アクセラレータープログラム	メンター
			にかほ市	秋田県にかほ市 にかほベンチャー創出・育成業務	統括メンター 9 月～12 月全 5 回
			山梨県都留市	山梨県都留市 生涯活躍のまち・つるビジネスプランコンテスト	メンター・コミュニケーター
	田原 洋樹	特任教授	あきる野市	都立あきる野学園協働スイーツ開発プロジェクト	11 月に開催された高校の文化祭で、来校者に一般販売しました。
あきる野市			「武蔵増戸グルメマップ」作成	グルメマップ制作事業としては 5 カ年計画の 4 期目。商工課、市商工振興課と田原ゼミナールが協働して、JR 五日市線沿線の飲食店の PR をする目的で活動しています。	
日野市多摩市他			多摩マイクロツーリズムプロジェクト	多摩大学、京王観光、多摩信用金庫等が事務局。多摩地域の観光まちづくりを学生が主体となって企画考案するプロジェクトへの参加。	
日野市多摩市			ひの・たまデジタルスタンプラリー	「ひの・たまデジタルスタンプラリー」は日野市・多摩市のロケ地や観光地を巡り、両市の魅力に触れてもらう企画。チェックポイントの掲載写真の撮影や紹介文の作成に協力。	

デザイン部			
学科	地域	名称	概要
デザイン学科	「立川活性化プロジェクト2022」	企画発表会	今年度は立川市役所からの依頼で、5つの課題に取り組みました。学生たちが、立川を活性化するための20の企画を提案。
		学生がデザインした横断幕が立川駅に掲出されました	「ブランドメッセージの周知等を契機としたシティプロモーション推進」に対して学生が提案。
		立川市クリーンセンターたちむにいの愛称ロゴ	クリーンセンターたちむにいの愛称ロゴをデザインし採択されました。
	府中市	府中けやき並木イルミネーション2022「けやき並木に飾るステンドグラス風ボードを作ろう！」	カットされたアクリル板に好きな色のフィルムを張り、けやき並木石垣内に設置された光るボードをステンドグラス風に飾り付ける工作教室を実施しました。
	日野市	明星大学デザイン学部生発案のデザイン・PR	産官学連携でのごみ指定収集袋のデザイン・販売。スーパーマーケット及びコンビニエンスストアにおける実証実験
		2022「ギフト」展示即売会	明星大学デザイン学部の分野演習科目「プロダクトデザインB(商品計画)」の履修生による、課題成果発表会・展示即売会。
		第6回卒業研究展	明星大学デザイン学部を今年度卒業予定の4年生が、積み重ねた学びの成果を展示とプレゼンテーションで報告する展覧会イベントです。
	大学	「デザインセッション多摩 (DeST デスト)」みどりのオープンキャンパス	「デザインセッション多摩 (DeST デスト)」は、多摩地域を拠点に、デザインの力を活かしたプロジェクトを増やすためのプラットフォームです。2022年度は「みどりのオープンキャンパス」をテーマに、全13大学の教職員によるトークセッション、ワークセッションを開催

◆デザイン学部が社会人や学生を対象とした「みどりのオープンキャンパス」を開催 (3/4)



第1部トークセッション (オンライン) : 緑地の活用を推進する4人と一緒に「大学の緑地の現状とこれからの可能性」について話し合う

「大学の緑地の現状とこれからの可能性」

- ・活動報告1 「教員養成大学がもつ緑地の可能性」
小柳 知代 東京学芸大学 環境教育研究センター 准教授
- ・活動報告2 「大学緑地の保全の利益をどう考えるか」
竹内 大悟 早稲田大学 自然環境調査室 調査研究担当
- ・活動報告3 「大学コミュニティガーデンで生まれる人と人、人と自然のつながり」
明石 修 武蔵野大学 工学部環境システム学科 准教授
- ・活動報告4 「クロッシングの場としての学内緑地」
柳川 亜季 明星大学 理工学部 准教授

[企画・進行] 萩原 修 明星大学 デザイン学部 教授、プロジェクトデザイナー

第2部ワークセッション (多摩エリアの10拠点で対面開催) :

大学の教職員10人がリーダーとなり、デザイナー、市民、公務員、会社員、NPO、教員、学生などと一緒に「大学の緑地」のあり方を考え、発表する

[拠点] 01 帝京大学 / 02 明星大学 / 03 中央大学 / 04 東京薬科大学 / 05 東京都立大学 / 06 多摩美術大学 / 07 東京工科大学 / 08 東京造形大学 / 09 法政大学 / 10 拓殖大学

[ファシリテーター] 河野 奈保子 プロジェクトデザイナー/武蔵野美術大学 非常勤講師/NPO 事務局スタッフ

薩川 良弥 合同会社パッチワークス 代表/空き家をスナックする会 主宰/ビデオグラファー

心理学部					
学科	教員	職位	地域	名称	概要
心理学科	小貫 悟	教授	新潟県	小千谷市教育委員会夏季研修	授業のユニバーサルデザイン～教科教育と特別支援教育の融合～
	松岡 恵子	非常勤講師	大田区蒲田寺子屋での活動	高次脳機能障がい者と家族のつどい「たまりば～」 月1回 4月～8月	ZOOMによるハイブリッド茶話会を月に一度開催し、高次脳機能障害のある方および家族をつなげるお手伝いをしています。
				「言葉の可能性を探る」～心理士（師）が地域でひらかれるために～	大田区・世田谷区にゆかりのある公認心理師が集まって心理職としての経験を話しあい、交流をはかりました。 このイベントは東京公認心理師協会 地域活動推進委員会による助成を受けて行われました。
				「第4回 小さな発表会」	歌、朗読詩人、ひとり芝居などのパフォーマンスが行われ、表現や創作を媒介として障害のある方とない方の自然な交流がなされました。
			「言葉と遊ぶ 川柳に学ぶ」	公認心理師を対象とした川柳ワークショップが行われました。	

建築学部					
学科	教員	職位	地域	名称	概要
建築学科	齊藤哲也 (齋藤ゼミ)	教授		第8回 多摩の学生 まちづくり・ものづくりコンペティション 2022	奨励賞・ビジネス奨励賞
	西浦 定継	教授	多摩市	「多摩ニュータウン再生プロジェクト第10回シンポジウム」講演テーマ 『若い地域プレイヤーが描く多摩ニュータウンの未来』	講評
	深井 祐紘	准教授			パネリスト

その他	教員	職位	地域	名称	概要
発達支援センター	岩本 友規	研究員	日野市	発達支援講演会	講師
明星大学	大学		大学	日本機械学会基礎セミナー 「鉄道車両のダイナミクスとモデリング」	開催協力

発行物



【地域交流センター 2022 年度発行物のご案内】



◆活動報告

- ・ 2021 年度明星大学地域活動報告書 2022 年 6 月 1 日発行

◆地域交流センター Newsletter

- ・ 地域交流センター Newsletter Vol.9 2022 年 10 月 11 日発行
- ・ 地域交流センター Newsletter Vol.10 2023 年 3 月 1 日発行

上記発行物及びバックナンバーは、明星大学地域交流センターの WEB ページより、ダウンロードいただけます。



当報告書に掲載いたしました情報の一部は、以下のサイトでさらに詳しくご覧いただけます。

明星大学公式ウェブサイト

<https://www.meisei-u.ac.jp/>



明星大学地域交流センターウェブページ

<https://www.meisei-u.ac.jp/support/tkc.html>



明星大学学友会・地域交流・ボランティア

Facebook

<https://www.facebook.com/meisei.tkc/>





明星大学地域活動報告書

2023年6月20日 発行

作 成：明星大学地域交流センター

住 所：〒191-8506 東京都日野市程久保 2-1-1

電 話：042-591-5111（代表）

042-591-9445（直通）

E-mail：gad-tkc@ml.meisei-u.ac.jp